

会派調査(研修)報告書

NO.

令和 5年 10月 17日

胎内市議会議長

小野 徳重 様

森本 将司 (報告者) 会派名 政和会

代表者名 天木 義人

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 5年 10月 10日 至 令和 5年 10月 12日 2泊 3日 (3日間)	調査・研修 場所	五島市：五島市役所 大川市：モッカランド
調査・研修 事項	長崎県五島市：再生可能エネルギーへの取組み（浮体式洋上風力発電） 福岡県大川市：子育て総合支援施設		
調査・研修 出席者(参加者)	天木義人、小野徳重、森本将司、坂上隆夫、渡辺栄六(公明党)		
相手方(対応者)	五島市：議長 木口利光、議会事務局長 山本強、書記 久保源輝、 未来創造課ゼロカーボンシティ推進班 坂井翔希 大川市：副議長 古賀寿典、事務局長 和田孝紀、次長 龍輝洋 施設長 古賀章子、子ども未来課課長補佐 宮崎朱美		

調査の結果または概要

五島市：再生可能エネルギーへの取組み

2010^年より環境省による洋上風力発電の実証事業を開始し、2019年からは当市に先んじて促進区域への指定、公募を経て現在設置工事が進められている。
また、洋上風力とは別に潮流を利用した発電の実用化に向けて2016年より実証事業が始まっている。

大川市：子育て総合支援施設

令和3年に市内に点在していた子育て関連施設を1つにまとめて、妊娠期から子育て期までワンストップで支援できる子育て総合支援施設として「モッカランド」を設置した。市内外から利用者が訪れ、コロナ過にも関わらず設置から約2年で市の人口を大幅に上回る累計7万人の来場があった。

調査の所見・感想

五島市：再生可能エネルギーへの取組み

当市の設置の際にメリットとして挙げられた、雇用の創出についてはR3年で9社94名、R4年で9社95名あったということだった。また魚礁が生まれるということに関しても実際にサンゴ礁や魚の群れが集まるなど集魚効果が見られるとのことで今後は漁も行えるよう検討しているということであった。

景勝地という部分に関しては五島市が観光都市であるため洋上風力自体が観光目的となるかはわからなかったが、毎年1000名弱の視察受け入れており関心の高さも伺えた。施工不良もあり運転開始に遅延が出るそうだが先進地として今後注目したい。

大川市：子育て総合支援施設

設置目的が妊娠期から子育て期までワンストップで支援するというだけあって、訪れることによってどこかしらで対応してもらえるとという強みはあると思った。しかしながら、市長の肝いりで設置されたということもあり、国の補助を活用しつつもそれなりに事業費用も掛かっており、どこでも真似できるものではないと感じた。

また公園や図書館と隣接しており、施設内にカフェもあるため休憩スペースとしても利用できるため、子育て世代以外の方にも訪れやすい環境であると思いました。

利用者の4割が市外からということだったが、人口増加の検証はされておらず今後、効果についても明らかになるため、検証が待たれるところである。